

CHECK!!
健康塾からの
お知らせ

「健康美GYM」新規オープン!

身体の美の健康サービスを提供し、お客様へ最善の方法で理想的なカラダづくりのサポートをおこないます。



POINT

- ◆ お客様にとって最適なフィットネスメニューでオリジナルの運動メニューを提供します。
- ◆ 管理栄養士監修の下、お客様にあった無理のないダイエットをサポートします。
- ◆ 健康運動指導士及び各種専門資格を取得したトレーナーが全面的にサポートします。



詳細はHPをご覧ください



部署紹介

西宮渡辺病院 入退院支援センター

令和4年4月に入退院支援センターが新設され、入退院に関する各種手続きや様々な相談窓口として対応を行っています。

予定入院及び緊急入院患者様の入退院時の手続きや入退院に関する相談があった場合の窓口として各部署へ取次ぎを行い、情報提供を行っています。

入退院の手続きを円滑に行い、患者様に寄り添えるようにスタッフ一丸となり、頑張っています。

(畝本 真弓)

安心して療養していただけるようサポートいたします!



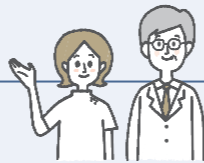
法人関連施設

- 社会医療法人 渡邊高記念会 / 西宮渡辺病院 / 西宮渡辺心臓脳・血管センター / 西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 / 西宮渡辺心臓リハビリクリニック / 西宮渡辺心臓脳・血管センター 東灘クリニック / ハートケア西宮わたなべ福祉の郷 / 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所わたなべ / グループホーム西宮わたなべ / サービス付高齢者向け住宅ひだまり / すくすく保育 / 訪問看護ステーション西宮わたなべ / 居宅介護センター西宮わたなべ / 西宮渡辺ヘルパーステーション / 健康塾 / 西宮市中央在宅療養相談支援センター / 西宮渡辺心臓脳・血管センター附属訪問看護ステーション
- 社会福祉法人 高明会 / シルバートピア西宮 / 居宅介護支援センターはまかせ

わたなべニュースに対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

当院各階詰所・1F受付に設置しております「ご意見箱」をご利用ください。

【発行元】社会医療法人 渡邊高記念会 法人本部 【TEL】0798-74-2630 【FAX】0798-74-7257 【URL】http://www.n-watanabe-hosp.jp/



西宮渡辺病院 リウマチ・膠原病センター開設

リウマチ・膠原病センター

センター長 船内 正憲

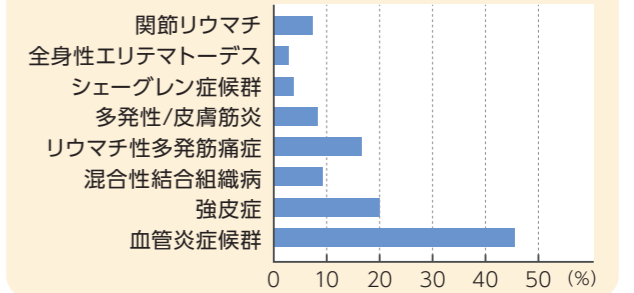


本年4月から「リウマチ・膠原病センター」を設立して5カ月が経ちました。お陰様で近隣施設から新たにご紹介頂く症例が徐々に増えてきています。これまでリウマチ科で培ってきたノウハウを継承しつつ、新たな領域の診療を目指して精進したいと考えています。

昨年度1年間で経験しました症例を見ますと、外来では図1に示しますように関節リウマチが約7割を占め、全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、多発性/皮膚筋炎、リウマチ性多発筋痛症、混合性結合組織病、強皮症、血管炎症候群、ベーチェット病など、メジャーな膠原病をすべて経験してきました。

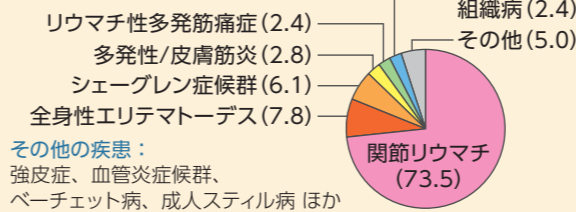
の入院例は生物製剤の導入のほかに、高疾患活動性あるいは合併症に対する対応に迫られる症例も含まれています。これに対して、血管炎症候群、強皮症、リウマチ性多発筋痛症の場合、現れる病変は全身広範囲にわたり、より集学的治療を要することが多いことと関係していると考えられます。

図3 外来患者数に対する入院患者数の割合 (2021年4月~2022年3月)



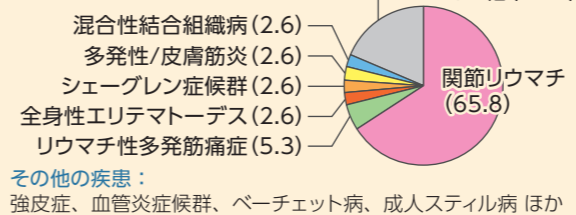
一方、最も患者数の多い関節リウマチの人口分布は図4に示しますように、女性が大半を占めることと、平均年齢が60歳代半ばであることは全国平均と同じであり、後者は日本人全体の年齢構成とほぼ同じです。一般的に年齢が増すと、その疾患以外に生活習慣病が加わりやすし、合併症を伴っている人も多くなります。その上、身体の代謝機能が若い人より低下することから慎重に薬剤を選択しなければなりません。当院の関節リウマチ患者さんの場合、目下のところ、生物学的製剤や分子標的薬を駆使して、辛い経過が順調と言える方も大勢おられますが、将来的に症例数がさらに増加すると、多彩な合併症を持ったケースが増えることが予想されることから、より正確なリウマチの病態と身体機能や合併症の把握、薬剤の副作用の注意深い観察が一層重要になってくると思います。

図1 疾患別外来患者の割合 (%、n=423) (2021年4月~2022年3月)



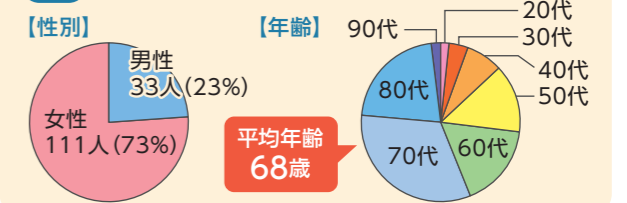
入院では図2の如く、首位は同じく関節リウマチですが、全身性エリテマトーデス、リウマチ性多発筋痛症、シェーグレン症候群、多発性/皮膚筋炎、混合性結合組織病に続き、1つ1つは少数ながら、「その他」に分類した多彩な膠原病の比率が大きいということが特徴的だと思います。

図2 疾患別入院患者の割合 (%、n=38) (2021年4月~2022年3月)



外来患者数に対する入院患者数の割合(図3)を見ますと、文字通り「その他」とした膠原病、即ち、血管炎症候群、強皮症、リウマチ性多発筋痛症が関節リウマチに比べて、患者さんの入院する割合が高いことがわかります。これには関節リウマチの「病勢が低いから」という場合と、「治療経過が良いから」という場合があります。但し、リウマチ

図4 関節リウマチ患者の性別と年齢



リウマチ・膠原病センターとして、各膠原病の診断・治療効果判定に必要なモダリティの整備、専門職種あるいは他施設との連携など、医療体制の充実と併せて、リハビリテーション、上記薬剤にかかる医療費の高騰などの社会・経済的な問題にも積極的に取り組み、チーム医療の精神で邁進して参ります。

診療科紹介

麻酔科の紹介+

西宮渡辺心臓脳・血管センター 麻酔科 部長 木山 亮介



2021年4月より西宮渡辺心臓脳・血管センターに3名が、2022年4月より西宮渡辺病院に1名常勤医師が赴任いたしました。昨年は両院合わせて年間1,000件にせまる手術麻酔管理を行いました。西宮渡辺病院では昨年新たに1室の手術室を増設し、整形外科と外科を中心に、外傷や腹部疾患などの緊急手術や脊椎手術といった高度な麻酔管理を、そして西宮渡辺心臓脳・血管センターではその名の通りの心臓手術や脳外科手術、末梢血管手術や循環器領域の最新治療である経カテーテル的大動脈弁置換術など**専門性の高い麻酔**を行っております。

昨今の全国的な超高齢化の波がこの西宮にも来ております。手術を受けられる患者さまは70代80代が多く、中には90代や100歳を超える方もいます。高齢者は合併症が多くなりがちで、一般的に麻酔管理も複雑かつリスクが高くなります。そのような患者さまが安心して手術を受けられるように、術前評価やカンファレンス、看護師や臨床工学士や放射線技師とのチーム医療の強化、そして日々の研鑽をおこなっております。4名とも麻酔科専門医であり、内1名が指導医、3名が心臓血管麻酔専門医、2名が集中治療専門医を取得しています。施設といたしましては心臓脳・血管センターは2022年4月に麻酔科学会認定病院となり、10月には心臓血管麻酔専門医認定施設となる予定です。



鎮静 (寝ている間に) **鎮痛** (痛みがないように) **筋弛緩** (体動を抑え安全に手術できるように)

さて、麻酔学の教科書を開くと、まず**三要素**という言葉に出会います。

この3つの言葉は麻酔における基本であります。この基本を不断に深く考え、大切にすることで手術を受けられる患者さまに安全で快適な麻酔が提供できると考えております。日々頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。普段は手術室にありますが、麻酔に関して疑問や不安があればいつでもご相談ください。



西宮渡辺心臓脳・血管センター 不整脈科 新任医師紹介



● 顧問 / 全 栄和

頻脈性不整脈のカテーテルアブレーション治療には昭和の黎明期から携わって来ました。高周波カテーテルアブレーションの時代の先端を推進して来た自負はあります。年齢的に老兵は消え去るべきという域に達しましたが、世間に生兵法的な手技が横行している現状を鑑み、本物は何かを知らしめるべきと再度臨床の最前線に立ちました。患者様にはレントゲン被曝を軽減し、再発の少ない実効的な治療をしていきたいと思っております。



● 部長 / 花澤 康司

ドイツ留学から帰国し、和歌山にて8年間、日本赤十字社和歌山医療センターで主に不整脈診療に従事しておりました。その経験を活かして、不整脈に悩む地域の患者さんが一人でも少なくなるよう、ニーズに応じた丁寧な不整脈診療を行っていききたいと思っております。

【不整脈科の外来】 全医師は水曜の午前、花澤医師は月曜の午前及び午後になります。

診療科紹介

西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 形成外科・美容医療センターとは?



● 当施設について

社会医療法人渡邊高記念会の理念に基づき、美容やアンチエイジングのアプローチから、みなさまの生活と健康を支え安心して診療を受けることのできる身近な診療所として、笑顔と思いやりをもって、それぞれの患者様に合わせてカスタマイズした治療、質の高い医療を提供します。



● センター長 挨拶



西宮渡辺脳卒中・心臓リハビリテーション病院 形成外科・美容医療センター長 泉月 玲子

当センターは、身体機能のみならず形態的にも美しくする形成外科と、美しさをより引き出すことのできる美容外科・美容皮膚科を組み合わせ、みなさまがより輝き豊かな生活を送るためのお手伝いができる場でありたいと願っています。

いずれにおいても、「キレイにしたい」という気持ちに変わりはありません。これまで培ってきた専門的な経験を活かし、患者様目線の安心安全な医療を、真摯かつ誠実にご提供いたします。ぜひお気軽にご相談ください。

所属学会

- 日本形成外科学会 ■ 日本レーザー医学会
- 日本創傷外科学会 ■ 日本美容外科学会(JSAPS)

資格

医学博士/形成外科専門医/レーザー専門医(日本レーザー医学会)/皮膚腫瘍外科分野指導医(日本形成外科学会)/創傷外科専門医(日本創傷外科学会)/臨床研修指導医

● 当院の強み

ケガやできものなどを治療する形成外科だけでなく、さらにキレイにしたい方々のご希望にお応えする美容外科・美容皮膚科として、保険診療・自費診療両方の観点から診療ができることが当院の特徴です。レーザー治療や注入治療、化粧品や外用薬による治療など様々な方法をご提案いたします。

全ての施術を女性医師が執刀

形成外科専門医・皮膚腫瘍外科分野指導医・創傷外科専門医・レーザー専門医の医師が、エステではできない医療機器や技術のもと、それぞれの患者様に合った診療を行います。



豊富な治療経験

形成外科専門医として形成外科・美容医療に携わり10年以上になる医師が、これまでの経験や技術を生かして診療を行います。



病院でできる美容医療

西宮渡辺病院・西宮渡辺心臓脳・血管センターなどを有する社会医療法人渡邊高記念会の一員として、地域の皆様に身近で安心安全な美容医療をご提供します。



完全予約制 tel. 0798-39-0215 〒662-0931 西宮市前浜町4-3

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	●	●	●	—	●	※
14:00~17:00	●	●	●	—	▲15時~	—
17:00~19:00	—	—	—	—	●	—

受付時間 [午前] 8:30~11:30 [午後] 13:45~16:30 [夜診] 16:30~18:30 ※第1週のみ ※木・日・祝 休診

ホームページ <https://www.maehama-clinic.jp/>

